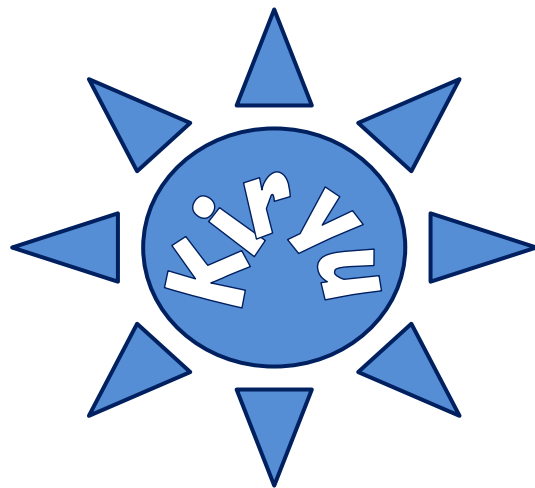


# 第3次中長期事業計画

平成31年4月から5年間

～ 地域社会と共に！魅力あるセンターへの飛躍 ～



平成31年3月

公益社団法人桐生市シルバー人材センター

## はじめに

公益社団法人桐生市シルバー人材センターは、昭和59年6月29日の設立以来34年が過ぎました。

その間、平成17年6月13日に新里村・黒保根村の各ミニシルバーと統合、平成24年4月1日には公益社団法人へ移行し、平成26年度からは派遣事業に取り組むなど、順調に事業展開を行ってまいりました。

そして今、昭和・平成から新しい時代へと変遷していくなかで、働き方改革や定年の引き上げ等により労働環境は著しく変化しており、センターとしても現状を的確に把握し、適切な事業運営を行っていかなくてはなりません。

また、桐生市における高齢化率は依然高推移をたどっておりますが、シルバー人材センターへの入会年齢は引き上がる傾向にあります。生産年齢人口の減少により、働く意欲のある高齢者がより一層求められるなか、就業会員の確保も課題となっております。

このような現状を踏まえ、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域に根差した魅力あるセンターとしてさらに飛躍するため、ここに平成31年4月から5年間の第3次中長期事業計画を策定いたしました。

シルバーに頼んで良かった！シルバーに入会して良かった！そんなセンターを目指し、今後も桐生市をはじめとする関係各位のご理解とご指導のもと、会員並びに役職員一丸となって事業推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成31年3月

公益社団法人桐生市シルバー人材センター  
理事長 萩原 健次郎

## 目 次

	頁
I 計画策定の趣旨	1
II 基本的課題	1
III 計画の期間	1
IV 計画の目標	2
V. 施 策	
(1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ	2
(2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供	4
(3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援	6
(4) 魅力あるセンター運営	8

# 公益社団法人桐生市シルバー人材センター

## 第3次中長期事業計画

### I 計画策定の趣旨

一段と加速する高齢化社会において、元気で就業を希望する高齢者の社会参加の受け皿としてのシルバー人材センターの役割はますます重要となっております。

高齢者が福祉の受け手から社会の担い手として、住み慣れた地域で生きがいをもって生活し、地域社会に貢献していく「生涯現役社会」の実現に向けて、公益法人として法令を遵守し、多様化する地域ニーズに迅速・的確に対応していかなくてはなりません。

また、同時にお客さまから安心・信頼をいただけるセンター運営を行なっていくため、ここに第1次・第2次中長期事業計画を踏まえ、さらに飛躍させるため、第3次中長期事業計画を策定します。

### II 基本的課題

- (1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ
- (2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供
- (3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援
- (4) 魅力あるセンター運営

### III 計画の期間

平成31年4月から5年間とし、状況に応じて見直しを行うものとします。

#### IV 計画の目標

5年間の目標数値を次のとおり設定します。

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
会 員 数 (人)	600	610	610	620	620
契 約 金 額 (千円)	246,000	259,500	271,500	283,500	296,000
就業延べ人員 (人日)	57,000	58,500	60,000	61,500	63,000

#### V. 施 策

##### (1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ

###### 【現状と課題】

桐生市における高齢化率は、平成30年4月1日現在で34.65%と群馬県内において最も高く、今後も高推移すると予測されます。

一方、60歳以上人口に占めるセンター会員数の割合である粗入会率は、平成29年度末で1.2%（男性2.0%、女性0.6%）と全国平均1.7%（男性2.6%、女性1.0%）、群馬県平均1.3%（男性2.0%、女性0.7%）に比較して低い水準です。

また女性の入会率が低く、近年需要が増している高齢者福祉・保育分野に十分対応できない状況が発生しており、女性会員の確保も課題となっております。

更に、定年の引き上げや雇用継続制度等により、センターへの入会年齢が高くなるとともに会員の高齢化が進むと見込まれ、会員数の

伸びは少ない傾向が続くと考えられます。

センターとしては、シルバー人材センターで働くことのメリットを十分に周知し、顧客ニーズに迅速に対応できるよう会員を確保することが重要な課題となっております。

## 【施 策】

### 1. 会員の増強

#### ① 入会促進

ア 入会説明会において、具体的な受注内容の説明を行い、入会を促します。また、各業務担当者との面談を速やかに行うことにより、入会を促します。

イ 新里・黒保根各地区における入会説明会を検討します。

ウ 女性の入会促進を図るため、女性対象の入会説明会の開催を検討します。

エ 会員の口コミによる入会促進運動を展開します。

オ イベント等におけるチラシ配布や、新聞記事掲載等により入会促進のPRを行います。

カ 桐生市広報へ会員募集の記事掲載を依頼し、PRに努めます。

#### ② 会員の定着

ア 未就業会員への積極的な声掛けを行い、ワークシェアリングやローテーション就業等による就業機会の公平な提供を進め、会員の定着を図ります。

イ 未就業会員の状況把握の共有化を進め、就業紹介につなげていきます。

ウ 高齢等により就業が困難となった会員が、引き続き会員として行事等に参加できるような体制を検討します。

## (2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供

### 【現状と課題】

近年需要が増しているシルバー派遣事業が順調に実績を伸ばし、請負事業と派遣事業をあわせた契約額は2億2千万円を超えております。

しかし、受注が伸びる一方、就業会員が不足している職群が多いのも現状です。特に夏場の除草や草刈り作業などの受注増に対応する就業会員の不足、植木作業や襖張りなどの技能群では後継者不足が課題となっております。

就業会員が不足している一方、就業率は約85%前後で推移しており、未就業会員の解消に向けた対策が必要です。不足している職群への就業紹介や新規受注の拡大と共に、ワークシェアリングやローテーション就業を進めていかななくてはなりません。

また、近年需要が増している高齢者福祉・保育分野における就業会員の確保に加え、お客さまの依頼内容と会員の就業希望がマッチングしないケースも見受けられ、顧客ニーズに対応できる会員の確保も課題となっております。

### 【施 策】

#### 1. 就業機会の拡大

##### ① PR活動の強化

ア 新聞へのチラシ折り込みや広告掲載等により、シルバー事業のPRに努めます。

イ イベント等におけるチラシ配布や、新聞記事掲載等により受注拡大にむけたPR活動を行います。

ウ ホームページの充実を進め、シルバー事業の情報提供を図ります。

## ② 顧客満足度アップ

### ア 実技研修の実施

植木作業や刈払機作業、障子・襖・網戸張りのほか、清掃、福祉関係、駐車場整理等の講習会を実施し、会員資質の向上並びに後継者育成を図ります。

### イ 接遇研修の実施

各職群等において定期的に接遇研修を実施し、安心と信頼のお客様対応を進めます。

### ウ 就業待ち日数の短縮

会員の増強や後継者育成等により、受注から就業開始日までの短縮を図ります。

### エ お客さま満足度調査の実施

調査結果を分析し、顧客ニーズの把握と共に改善を進め、顧客満足度を高めることによりリピーターの増加を図り、就業機会の拡大並びに新規受注につなげます。

## ③ 新規事業受託に向けた取り組み

### ア 空き家管理対策事業

桐生市との協定による空き家管理事業に取り組み、受注増に繋がります。

### イ 日常生活支援事業

介護保険制度の改正による生活支援サービス事業への参入を検討します。

## ④ センター独自事業の検討

### ア シルバーさぽーと隊事業

桐生市との連携による「シルバーさぽーと隊」の充実に向けた組織の見直しを行い、地域社会の支えあいを進めていきます。



## イ 手づくり工芸品販売事業

製品づくりの講習会開催等により品質向上を高め、就業会員の増加並びに販路の拡大に向けた検討を行います。

## ⑤ シルバー派遣事業の推進

ア 地域ニーズに迅速に対応できるよう、就業会員の確保に努めるとともに、関係法令等を遵守し、群馬県シルバー人材センター連合会と連携を保ちながら高齢者の就業として安全適正な事業推進を行います。

イ 労働者派遣法、労働基準法等関係諸法規に対する職員勉強会を実施しスキルアップを図るとともに、就業会員のフォローアップに努めます。

## 2. 公平な就業機会の提供

適正就業基準に基づきワークシェアリングやローテーション就業を進め、公平な就業機会の提供により就業率の向上を図ります。

### (3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援

#### 【現状と課題】

高齢化社会が進むなか、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって楽しく安心して社会参加していくにあたり、当センターとして安全就業を進め、健康管理を促していくことが求められます。

近年は、蜂刺されや熱中症、また体力低下によるとみられる就業中の転倒やつまずきによる事故が増加傾向にあります。自己の体力を認識し、安全就業していくための注意喚起を行っていかなくてはなりません。

また、高齢者の社会参加には地域とのつながりが大切です。公益法人として地域に理解され、信頼されるセンターとして発展していくため、地域貢献活動を実施していくことも欠かせません。

## 【施 策】

### 1. 安全適正就業の推進

#### ① 安全巡回パトロールの実施

安全・適正就業委員会による安全巡回パトロールを毎月実施し、注意喚起を促すと共に安全就業の徹底を図ります。

#### ② チェックシートの活用推進

植木・草刈等の作業時におけるチェックシートの活用により、安全就業に対する意識の向上を図ります。

#### ③ 安全講習会の実施

ア 熱中症や蜂刺され、また急病等の対応として救急救命士等による講習会を実施します。

#### イ 刈払機取扱講習会の実施

石飛による事故防止等に向けた講習会を実施します。

また、作業時の安全確保や知識・技能を習得するための安全衛生教育講習会を実施します。

#### ④ 「ヒヤリハット」事例の発表

会員の経験談やアンケート結果を、安全講習会等において発表するとともに、シルバーきりゅうに掲載し、全会員への注意喚起を促します。

#### ⑤ 安全宣言の活用

安全適正就業委員による標語の活用を進め、全会員の安全意

識の向上を図ります。

## 2. 健康管理

### ① 健康講習会の実施

桐生市健康づくり課等の専門職による講話や体操等による講習会を実施します。

### ② 健康診断受診の促進

桐生市の「新わたらせ健康診査」等の健康診断受診を勧め、自己の健康管理を促します。

## 3. 地域貢献

### ① シルバーの日清掃ボランティアの実施

毎年10月のシルバー普及啓発促進月間において、各地区における清掃ボランティア活動を実施します。

### ② 各種イベントを通し、地域社会にひらかれたセンターとして交流を図っていきます。

## (4) 魅力あるセンター運営

### 【現状と課題】

シルバー事業の推進にあたっては、センター運営基盤の強化を図り、関係機関と連携をとりながら適切な運営を行っていくことが重要です。

また、専門委員会や職群班の充実を進め、会員が就業だけでなくセンター活動に積極的に参加し、会員の意見を運営に反映させていくことも、より良いセンターづくりに欠かせません。

最近では会員表彰出席者や清掃ボランティア活動等への参加人数も

減少傾向です。今後は1人でも多くの会員の参加を目指していくことが求められます。

## 【施 策】

### 1. 運営基盤の強化

#### ① 配分金等単価の見直し

消費税率や群馬県最低賃金の改正等に伴う配分金等単価の見直しを行います。

#### ② 行政機関等との連携強化

桐生市をはじめ、群馬県シルバー人材センター連合会等関係機関との連携を強化し、事業運営にかかる相互の情報交換等により、積極的な事業展開を行います。

#### ③ 理事会・専門委員会の充実

役員への積極的な情報提供や研修会への参加等により役員資質の向上並びに理事会の活性化を図ります。

また、専門委員会活動の見直しを進め、会員の積極的な参画を促します。

#### ④ 事務局体制の強化

##### ア 財政基盤の強化

事務の効率化並びに経費の節減等コスト意識を高め、財政基盤の充実を図るとともに、公益社団法人としての的確な事務処理に努めます。

##### イ 職員の採用

年齢構成に配慮し、センター業務に支障のないよう計画的な職員採用を行います。

## ウ 職員資質の向上

群馬県シルバー人材センター連合会等関係機関の研修会への積極的な参加を行い、業務の知識向上を図ります。

また、センター内において定期的な業務研修を行い、全職員のスキルアップを図るとともに、接遇マナーアップに取り組み、顧客並びに会員対応の充実を進めます。

## 2. 会員参加の運営

### ① 専門委員会への参画促進

専門委員会組織の見直しにより、会員が積極的に参画できる委員会活動を目指します。

また、委員会活動での意見等を事業運営へ活かせるよう取り組んでいきます。

### ② 職群班の充実

安全で効率的な就業に向けて、職群班の充実を進めます。

また、各職群における意見等を事業運営へ活かせるよう取り組んでいきます。

## 3. 魅力あるセンターづくり

### ① センター活動の充実

ア 就業以外のセンター活動における参加会員の増加に向けて、親しみやすく充実した内容の検討を行います。

イ 会員互助会と連携し、楽しく参加できる諸行事の検討を進めます。

### ② 会員アンケートの活用

会員アンケートの集計結果並びに寄せられた意見等の活用を図り、会員満足度を高め、魅力あるセンターを目指します。

## 【安全心得 安全10か条】

- (1) 作業は、安全第一を心掛け、急いだりあわてたりしないこと。
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- (3) 服装・履物は、作業にあった動きやすいものにする事。
- (4) 作業前に、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- (6) 共同作業は、合図・連絡を正確に行うこと。
- (7) 作業現場は、常に整理整頓に心掛けること。
- (8) 酒気を帯びての作業は、絶対に慎むこと。
- (9) 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- (10) 仕事の前日は、十分睡眠を取るよう心掛けること。